



株式会社MILIZE

DX推進ビジョン

2023年6月1日 制定

代表取締役 田中 徹

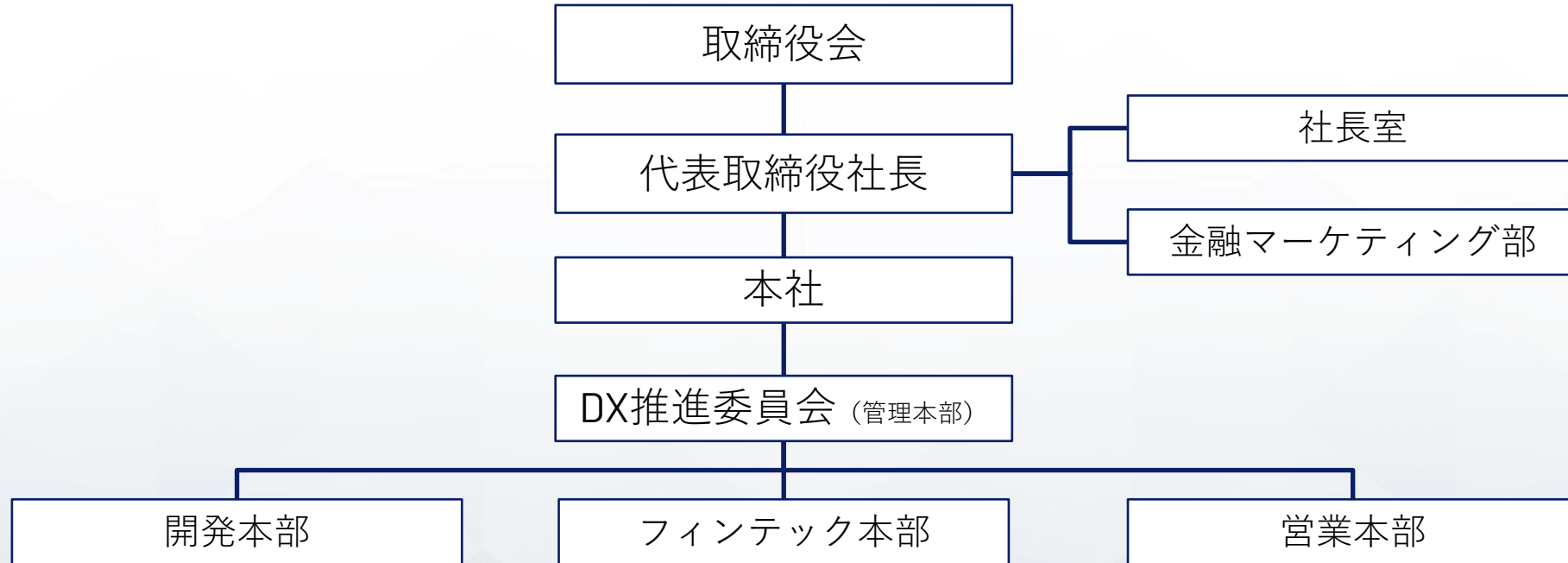
1. 社内DX推進による生産性向上

1. 原価管理ツール（TeamSpirit）での工数見積もりの削減
2. salesforce機能を追加して見込み数字算出の正確性向上
3. ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化
4. chatGPTを利用した新サービスの創出

2. DX人材育成

1. DXテクノロジー専門人材育成（e-learning）
2. AWSの資格取得の推進（e-learning）

2023年3月より、管理本部にDX推進委員会を新設、ITツールの導入し、迅速に課題解決を実現できる体制を構築しています。



- 1. chatGPT連携のシステム開発
- 2. 課題発見のためのデータ分析
- 3. ローコード開発での工数削減

- 4. 原価管理ツールでの工数削減
- 5. オンライン教育コンテンツの活用
- 6. CRMサービス機能活用

DXビジョンに基づく推進項目

1. 社内DXの推進による生産性向上

2. DX人材育成

推進計画

1. 原価管理ツール(TeamSpirit)での工数見積もりの削減
2. salesforce機能を追加して見込み数字算出の正確性向上
3. ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化
4. chatGPTを利用した新サービスの創出

1. DXテクノロジー専門人材育成(e-learning)
2. クラウドサービスの資格取得の推進(e-learning)

業務削減時間 **1500時間** 資格取得者 **5名**

DX戦略

社内DX推進による 生産性向上

原価管理ツール導入による時間削減は、勤怠管理と連動することで従業員一人ひとりの工数管理を正確把握します。Salesforceの機能追加により、見込み数字の算出が正確になり営業活動の生産性向上させます。また、新サービスとしてchatGPTを連携させたチャットボットを構築しサービス品質を向上させます。

DX人材の育成

自社のDX推進を図るため計画的な社内人財の育成によるITリテラシー向上と、お客様の業務のDX化促進のためにクラウド認定資格の取得を目指します。

1. 社内DX推進による生産性向上

1. 原価管理ツール (TeamSpirit) での工数見積もりの削減

原価管理ツール導入による時間削減は、勤怠管理と連動することで従業員一人ひとりの工数管理を正確把握します。

2. salesforce機能を追加して見込み数字算出の正確性向上

salesforceの機能追加により、見込み数字の算出が正確になり営業活動の生産性向上させます

3. ListFinderによるマーケティングオートメーションで効率化

MAツールの導入をして効率的な営業活動を実施します。

4. chatGPTを利用した新サービスの創出

1. チャットボット機能にchatGPTを連携させて回答精度を向上させる
2. chatgptの利用によって、エンジニアのコーディング生産性の向上

2. DX人材育成

1. DXテクノロジー専門人材育成 (e-learning)

2. AWSの資格取得の推進 (e-learning)

クラウド認定の資格取得し、自社サービスレベルを上げ顧客のDX環境を向上させる。

当社ではDXの推進のために下記のような環境整備に取り組んでいます

1. 原価管理ツール導入による工数見積もりのスピードアップ
2. Salesforceに機能追加し、管理工数の削減
3. ListFinderによるマーケティングオートメーション化
4. chatGPTを連携させた新サービスの創出
5. e-learningシステムを利用したDX人材の育成

現在、当社ではITツール導入により管理部門の時間効率化や営業部門の生産性向上を目標に環境整備に取り組んでいます。

原価管理ツール導入による時間削減は、勤怠管理と連動することで従業員一人ひとりの工数管理を正確にすることができました。

工数計算の時間が削減されたことで他の業務に時間を使うことができるため必要な施策として今後も活用します。

Salesforceの機能追加により、見込み数字の算出が正確になり営業活動の生産性向上に繋げることが出来たと認識しています。

社内業務システムおよびサプライチェーンのデジタル化など、ICT技術を活用することで「効率と生産性を高め、新たな価値を作り出す」取り組みを推進しています。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「DX推進の取組み」として、随時、公開して参ります。

